ホームルーターと呼ばれるインターネット機器が出てきた。Wi-fi機器である。当初は、softbank AirだけだったがDocomo,Auの2社がここに来て発表した。導入後で遅まきではあるが比較してみた。

	Docomo HR01 5G	Au ホームルーター5G	softbank Air 4G
価格	4,950円/月	4,700円/月	4,880円/月
速度	1.2Gbps	867Mbps	481Mbps 注釈1
特徴	プラチナ回線利用	プラチナ回線利用	プラチナ回線利用せず

プラチナ回線とは、4G・5G携帯の最も高速電波帯をいう。データ量により携帯も影響を受けることになる。Softbankは、旧ウィルコム回線を利用している模様???

4G,5G:第四世代、第五世代通信 bps:ビット/秒、通信速度

< 注釈1 >

softbankのホームページからホームルーターの最新では612Mbps(T4next)、筆者の所有するターミナル4では、481Mbpsという速度仕様となっている。T3で350Mbps、T2で261Mbpsとなっている。つまり、、、後発ほど?、どんどん早くなっているのである。ここで注目したいのが、962MbpsのT4ルーターの利用上の数値が481Mbpsと紹介されていることである。ルーターの性能より住所ごとのサポートされている電波品質に依存する。Docomo,Auにしても5G回線で高速をうたっているが、推して知るべしだと思える。また、プラチナ回線帯域を利用しているため携帯も含めてデータ量のコントロールが今後の課題になる。

<< 筆者の勝手な検証 >>

- ・旧インターネット回線は、ADSL12Mの契約であった。
- ・現在の環境は、softbank Air ターミナル4 住所のサポート速度は110Mbpsである。

転送速度	利用率	計算上の転送速度	12Mのメタル回線とwi-fiとの感覚の違い?
481	22	110Mbps	場所により175/165/112.5/110Mbps
110	70	77	ウィンドウズの更新が早く終わって助かる
	60	66	ADSLよりも早い感じがする。(通常時)
	40	44	これでは遅い感じがした。(R3/5月連休まで)

- ・つまりは、481Mbpsの22%程度で利用している感覚である。ADSL50Mユーザーは?
- ・この感覚の違いは、ADSLのメタル回線でも12Mで転送されていないと考える?

もっと空論すれば、

・ ADSLの場合 50Mの実際の転送速度は、10Mとされています。

1/5だとすると

12Mの転送速度は、2.4M程度になります。

・ wi-fiの場合

(筆者の住所の場合)

利用率	175	165	112.5	110	感 覚
70	122.5	115.5	78.75	77	早い
60	105	99	67.5	66	トントン
40	70	66	45	44	遅い

<< ここからが空論 >>

実際使ってみて、60%でトントン、40%で遅い感覚がある。

利用時の感覚から、1/20に減衰すると仮定すれば、納得がいくような気がする。

そして、筆者の住所では、110Mもしくは112.5Mというところだと考える。

市内などで481Mのサポート地点では、24M程度まで利用できるとするならば

ADSLの50M(実質速度10M)だったユーザーも利用できる計算だ。

光回線は、ヘビーユーザーに最後の砦であるが、プラチナラインを使った

ドコモとAuのホームルーターは、どこまで速いのか答え合わせが待たれる。

5Gとしての期待が大きい分楽しみだ。(暫くは4Gと共用であるが)

・ Auのアナウンスでは、LANケーブルでパソコンにつないだ場合、転送速度が867Mbpsから1024Mbps(1G)になるとのことだ。157Mbpsもアップするのだ。
5G・4Gのプラチナ回線を利用したwi-fiのホームルーターの未来は如何に!